

貧酸素水塊速報 (2023年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
神奈川県水産技術センター ○ 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
第三管区海上保安本部 (国)国立環境研究所
○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)

(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和5年6月13日観測結果

本日南部海域は、荒天のため欠測となっています。6月11日から続いた北風の影響で、貧酸素水塊は湾奥に分布していました(図1)。青潮が発生したという情報はありません。北風が収まったので、貧酸素水塊は南側に戻ると考えられます。

表層水温21~23℃、底層水温16℃~20℃でした。

*内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

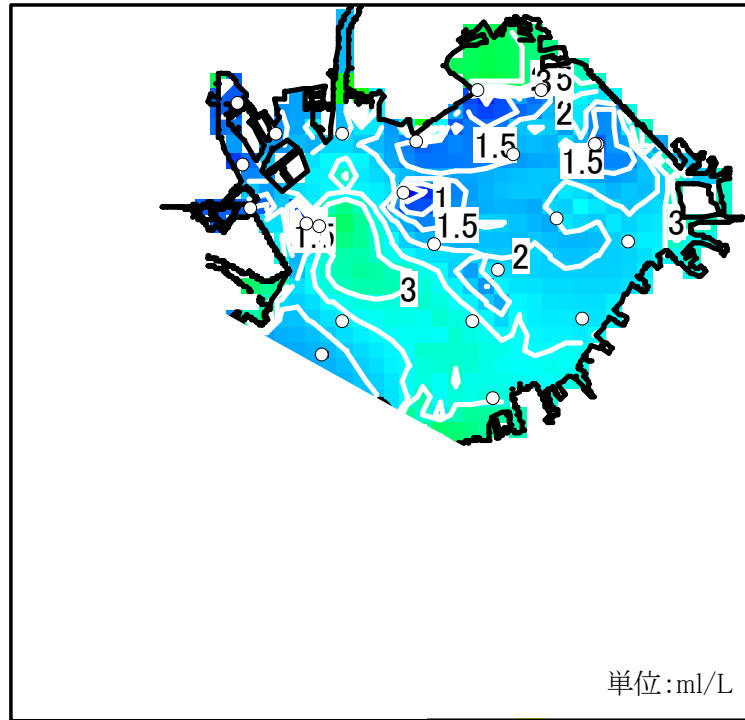


図1 底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	